

被爆80周年記念事業

令和6年2月
広島市

目 次

被爆 80 周年記念事業の実施について	P 1
被爆 80 周年記念事業一覧	P 3
1 原爆死没者の慰霊と被爆者の援護	P 6
2 平和文化の振興	
(1) 文化芸術活動・スポーツ交流による平和の実感	P 7
(2) 平和への思いを共有する学習や活動の機会の提供	P 9
(3) まちの姿を通じた平和への願いの発信	P 12
(4) 被爆の実相を自分のこととして受け止める環境づくり	P 13
(5) 平和都市としての国際的な認知度の向上	P 14

被爆 80 周年記念事業の実施について

1 趣旨

世界ではロシアによるウクライナ侵攻が長期化し、核兵器使用のリスクが懸念されていることに加え、他の核保有国においても核兵器の近代化や増強が図られるなど、緊迫した情勢が続いている。

そのため、本市では、市民社会において核兵器のない世界を目指すという総意を形成し、世界規模で核抑止論からの政策転換を押し進めるような大きな潮流を作り出していく必要があると考え、平和首長会議に加盟する国内外の都市と共に、平和文化の振興を図るための取組を進めている。

こうした中、令和 7 年（2025 年）に被爆 80 周年を迎えることになるが、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けた取組の重要性と、それを推進していくことの必要性は、従来にも増して大きくなっている。また、令和 5 年 5 月に本市において G7 広島サミットが開催されたことにより、「核兵器のない世界」の実現を目指すヒロシマの存在が世界に向けて発信され、本市のこれまでの取組の重要性が再確認されたところである。

こうしたことから、被爆 80 周年は、これまでも行ってきた「原爆死没者の慰霊と被爆者の援護」に、「平和文化の振興」を柱の一つに加えた上で、六つのテーマに沿って記念事業を実施する。

また、こうした取組に当たっては、戦争経験者や被爆者の高齢化が進展している現状を踏まえて、次世代の平和文化の担い手を育成する観点に立って、若い世代の主体的な取組や積極的な参画を促すことが重要となっていることにも留意しながら進める。

2 基本方針

1 の趣旨を踏まえ、次の二つの柱、六つのテーマに沿って記念事業を実施する。

柱	テーマ
原爆死没者の慰霊と被爆者の援護	<ul style="list-style-type: none">原爆死没者の慰霊と被爆者の援護
平和文化の振興	<ul style="list-style-type: none">文化芸術活動・スポーツ交流による平和の実感平和への思いを共有する学習や活動の機会の提供まちの姿を通じた平和への願いの発信被爆の実相を自分のこととして受け止める環境づくり平和都市としての国際的な認知度の向上

(1) 原爆死没者の慰霊と被爆者の援護

被爆 80 周年の節目を迎え、国内外から一層多くの参列を得て原爆死没者を慰霊するとともに、高齢化が進む被爆者の援護に引き続き取り組む。

(2) 平和文化の振興

ア 文化芸術活動・スポーツ交流による平和の実感

被爆 80 周年の節目に、文化芸術やスポーツのイベント等を実施し、参加者が平和であることに思いを馳せることができる機会を提供する。

イ 平和への思いを共有する学習や活動の機会の提供

次世代の平和文化の担い手の育成が求められている現状を踏まえ、青少年への平和教育や、市民や来訪者が平和について学ぶことができる場の提供などに積極的に取り組む。

ウ まちの姿を通じた平和への願いの発信

景観や建築物などまちの姿を通して平和への願いを発信できるよう、ハード・ソフト両面での事業を実施する。

エ 被爆の実相を自分のこととして受け止める環境づくり

戦争経験者・被爆者の高齢化を踏まえ、被爆の実相を伝える被爆建物や被爆樹木の保存・活用の取組、新たなデジタル技術を活用した被爆体験の継承活動などに積極的に取り組む。

オ 平和都市としての国際的な認知度の向上

被爆 80 周年の節目に、国際的な交流イベントの実施や、国内外に向けた平和メッセージの発信などに積極的に取り組む。

3 今後の予定

引き続き事業の追加等について検討し、令和 6 年度に最終的な取りまとめを行う。

被爆 80 周年記念事業一覧

区 分	事 業 名	頁
1 原爆死没者の慰霊と被爆者の援護		
1	平和記念式典開催	6
2	平和記念式典への在外被爆者及び遺族の招へい	6
3	被爆者との交流促進等事業の実施	6
4	原爆供養塔の公開	6
2 平和文化の振興		
(1) 文化芸術活動・スポーツ交流による平和の実感		
5	「平和のタベ」コンサートの開催	7
6	広島ゆかりのアニメーション 2025 上映会の開催	7
7	広島国際映画祭の開催	7
8	平和ミュージカル PEACE ON YOUR WINGS～平和は翼に乗って～ 佐々木禎子の物語の公演等	7
9	現代美術館特別展	7
10	広島市観音新町運動広場開場記念競技大会の実施	7
11	広島市スポーツ・レクリエーションフェスティバルの実施	8
12	マーガレットコンサートの開催	8
13	障害者ピースアート事業の実施	8
14	「紙屋町まちかどピアノ」のラッピングデザインリニューアル	8
15	I PRAY 2025 の開催	8
(2) 平和への思いを共有する学習や活動の機会の提供		
16	青少年を中心とする平和文化イベントの開催	9
17	原爆・平和を読み語り継ぐ事業の実施	9
18	「子どもたちへ原爆を語りつぐ本－総集版・2025－」の発行関連事業の実施	9
19	平和をテーマにした映画の特集上映	9

区 分	事 業 名	頁
	20 平和記念都市広島発展をたどる写真展の開催	9
	21 博物館資料を活用した企画展の開催	9
	22 戦後80年の暮らしの変化をたどる企画展示	9
	23 被爆建物(旧広島地方气象台)ガイドと原爆被害調査資料の展示	10
	24 被爆電車の車内公開等の実施	10
	25 企画展「市民が撮った広島の街(仮称)」の開催	10
	26 「ヒロシマ平和学習受入プログラム」の提供	10
	27 若者による平和の誓いの集いの開催	10
	28 平和構築に向けた核軍縮不拡散のためのワークショップ	10
	29 復興の都市計画についての企画展の開催	10
	30 『「命の水」～ひろしま水道物語』による被爆体験の伝承	11
	31 広島・長崎市児童生徒平和のつどい	11
(3) まちの姿を通した平和への願いの発信		
	32 毛利輝元没後400年記念事業(仮称)の実施	12
	33 平和大通りの利活用の推進(平和大通りへの芸術作品の設置等)	12
	34 広島の誇りある景観まちづくり形成プロジェクト	12
	35 広島駅南口広場へのパブリックアート設置	12
	36 京橋の復元	12
	37 西平和大橋歩道橋の整備	12
(4) 被爆の実相を自分のこととして受け止める環境づくり		
	38 国内ジャーナリスト研修	13
	39 被爆樹木の再生利用の取組	13
	40 AI・VRを活用した被爆体験の継承	13
	41 国内原爆・平和展の開催	13

区 分	事 業 名	頁
	42 被爆体験記集の作成・配付	13
	43 平和記念資料館の混雑対策	13
(5) 平和都市としての国際的な認知度の向上		
	44 「平和記念都市広島誕生」の編集・発行	14
	45 国際シンポジウムの開催	14
	46 平和文化月間におけるイベントの開催	14
	47 ヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展の開催	14
	48 第11回平和首長会議総会	14
	49 国際フェスタの開催	14
	50 姉妹・友好都市記念イベントの開催	15
	51 広島・長崎連携観光キャンペーン事業の実施	15
	52 ピースツーリズム推進事業の実施	15
	53 青少年国際平和未来会議の開催	15

1 原爆死没者の慰霊と被爆者の援護

被爆 80 周年の節目を迎え、国内外から一層多くの参列を得て原爆死没者を慰霊するとともに、高齢化が進む被爆者の援護に引き続き取り組む。

事業名【担当課等】	事業内容
1 平和記念式典開催 【市民局市民活動推進課】	原爆死没者の霊を慰めるとともに、世界恒久平和の実現を祈念するため、遺族・市民及び各界有志参列の下に平和記念式典を開催する。また、広島ゆかりの著名人の招へいなど来賓の充実や、平和首長会議役員都市の青少年代表の招へいなど市民参画の推進、さらには長崎市と連携した広報の充実などに取り組む。 時 期：令和 7 年 8 月 6 日 場 所：平和記念公園
2 平和記念式典への在外被爆者及び遺族の招へい 【健康福祉局原爆被害対策部調査課】	核兵器廃絶と世界恒久平和を願う思いを共有するとともに、在外被爆者の心身の保養を図るため、平和記念式典に在外被爆者及びその遺族を招へいし、国内在住被爆者との交流や健康相談などを実施する。 時 期：令和 7 年 8 月 場 所：平和記念公園、原爆養護ホーム など
3 被爆者との交流促進等事業の実施 【健康福祉局原爆被害対策部調査課】	神田山荘において、被爆者と一般客との交流や平和学習の場としての活用を一層促進するため、平和に関するパネル展示やバザー、健康づくりコーナー等の設置を行う「神田山荘フェスタ」を開催する。 時 期：令和 7 年 10 月～11 月 場 所：神田山荘
4 原爆供養塔の公開 【健康福祉局原爆被害対策部調査課】	原爆死没者の慰霊と世界恒久平和を願う思いを共有するとともに、氏名が判明している遺骨の遺族捜しにつなげるため、原爆供養塔の納骨室を報道機関に公開する。併せて、老朽化している原爆供養塔について、納骨室の防水や植栽の補修等を行う。 時 期：令和 7 年 7 月～8 月 場 所：平和記念公園（原爆供養塔）

2 平和文化の振興

(1) 文化芸術活動・スポーツ交流による平和の実感

被爆 80 周年の節目に、文化芸術やスポーツのイベント等を実施し、参加者が平和であることに思いを馳せることができる機会を提供する。

事業名【担当課等】	事業内容
5 「平和の夕べ」コンサートの開催 【市民局文化スポーツ部文化振興課 文化のまちづくり担当】	「平和への思い」を共有するため、平和をテーマとしたクラシックコンサートを開催する。併せて、生花による会場の飾り付けなどの取組を行う。 時 期：令和7年8月6日 場 所：広島文化学園HBGホール
6 広島ゆかりのアニメーション 2025 上映会の開催 【市民局文化スポーツ部文化振興課 文化のまちづくり担当】	広島とアニメーションとの関わりを再発見し、アニメーションを広島の新しい都市文化の一つとして捉え直す機会とするため、被爆体験をテーマにしたアニメーション、広島在住のアニメーション作家の作品など、広島ゆかりのアニメーションを特集・上映する。 時 期：令和7年8月 場 所：映像文化ライブラリー
7 広島国際映画祭の開催 【市民局文化スポーツ部文化振興課 文化のまちづくり担当】	広島や平和を世界に発信するとともに、世界各国の人々の交流促進にもつなげるため、世界中から集めた広島や平和をテーマとした映画やポジティブな力を持つ映画を上映する。併せて、ゲストや関係者による原爆慰霊碑への献花、ワークショップ等を実施する。 時 期：令和7年11月下旬（3～4日間程度） 場 所：映像文化ライブラリー、NTTクレドホール
8 平和ミュージカル PEACE ON YOUR WINGS ～平和は翼に乗って～佐々木禎子の物語の公演等 【市民局文化スポーツ部文化振興課】	文化交流により「平和への思い」を共有するとともに、被爆の実相を次世代へ継承するため、ホノルルの子どもたち（ミュージカルグループ・オハナアーツ）による、佐々木禎子さんの生涯を描くミュージカルを広島で公演する。併せて、広島の子どもたちによる音楽祭を開催する。 時 期：令和7年8月 場 所：JMSアステールプラザ ほか
9 現代美術館特別展 【市民局文化スポーツ部文化振興課 （現代美術館）】	平和の希求には文化の充実と豊かさが重要であることを伝えるため、現代美術を通してヒロシマの実相を伝え、平和の意義をアピールする特別展を実施する。 時 期：令和7年8月～10月頃 場 所：現代美術館
10 広島市観音新町運動広場開場記念 競技大会の実施 【市民局文化スポーツ部スポーツ振興課】	スポーツができる平和を実感してもらうとともに、本市の平和文化の取組を広めるため、市内及び広島広域都市圏内の競技チームによる少年野球、ソフトボール、サッカーの記念大会を開催する。併せて、運動広場への「被爆80周年記念メモリアルプレート」の設置や参加者等への記念品贈呈などを行う。 時 期：令和7年7月～11月 場 所：観音新町運動広場

事業名【担当課等】	事業内容
11 広島市スポーツ・レクリエーションフェスティバルの実施 【市民局文化スポーツ部スポーツ振興課】	<p>市民の生涯スポーツに対する関心を喚起し、継続させるとともに、参加者に平和であることに思いを馳せることができる機会をつくるため、区対抗のスポーツ交歓競技大会やレクリエーション運動会などを開催する。併せて、参加者等に会場で折り鶴を折ってもらうことにより、「平和への思い」の共有を図る。</p> <p>時 期：令和7年10月上旬 場 所：ホットスタッフフィールド広島（現エディオンスタジアム広島） ほか</p>
12 マーガレットコンサートの開催 【健康福祉局障害福祉部障害福祉課】	<p>障害者のより積極的な社会参加を促進するとともに、参加者や観客と「平和への思い」を共有するため、広島交響楽団の演奏、障害者団体による和太鼓演奏、両者による合奏などから構成される障害者と広島交響楽団のジョイントコンサートを開催する。</p> <p>時 期：令和8年1月下旬 場 所：広島国際会議場</p>
13 障害者ピースアート事業の実施 【健康福祉局障害福祉部障害福祉課】	<p>障害者の新たな生きがいをづくりや社会参加を促進するとともに、応募者や来場者と「平和への思い」を共有するため、障害者が制作したアート作品を募集し、入選作品を「広島市ピースアートプログラムアート・ルネッサンス」で展示する。</p> <p>時 期：令和7年9月下旬 場 所：合人社ウエンディひと・まちプラザ ほか</p>
14 「紙屋町まちかどピアノ」のラッピングデザインリニューアル 【中区市民部地域起こし推進課】	<p>日常の暮らしの中にある「平和」を実感し、「平和への思い」を継承していく契機とするため、「紙屋町まちかどピアノ」のラッピングデザインをリニューアルし、設置記念日にセレモニーで公開する。</p> <p>時 期：令和7年7月7日 場 所：紙屋町チャレオ</p>
15 I PRAY 2025 の開催 【教育委員会青少年育成部育成課】	<p>文化芸術活動による「平和への思い」の継承と共有へとつなげるため、原爆投下による広島の大惨禍と復興に向けて立ち上がった人々の平和を願う姿を題材として、特定非営利法人 I PRAY が上演する子どもたちが中心となった創作劇の開催を支援する。</p> <p>時 期：令和7年8月4日 場 所：JMSアステールプラザ</p>

(2) 平和への思いを共有する学習や活動の機会の提供

次世代の平和文化の担い手の育成が求められている現状を踏まえ、青少年への平和教育や、市民や来訪者が平和について学ぶことができる場の提供などに積極的に取り組む。

事業名【担当課等】	事業内容
16 青少年を中心とする平和文化イベントの開催 【市民局市民活動推進課】	被爆の記憶の風化を防ぐとともに、世界恒久平和の実現を願う「ヒロシマの心」を訴えるため、次世代を担う青少年による平和メッセージの発信を中心とする平和文化イベントを開催する。また、市内の高校等に対するイベントへの参加・協力の呼び掛けや体験型のイベントの拡充などにより、プログラムの充実を図る。 時 期：令和7年8月6日 場 所：広島国際会議場
17 原爆・平和を読み語り継ぐ事業の実施 【市民局生涯学習課（中央図書館）】	平和学習を効果的に支援するため、被爆や平和についての調査で想定される様々なテーマと、それに関連する図書館資料をまとめた目録を作成し、市内の生涯学習施設や学校、都道府県立・政令指定都市立図書館等への配付などを行う。 時 期：令和7年度上期
18 「子どもたちへ原爆を語りつぐ本－総集版・2025－」の発行関連事業の実施 【市民局生涯学習課（こども図書館）】	より多くの人に原爆や平和について学ぶ機会を提供するため、原爆に関する児童書の目録である「子どもたちへ原爆を語りつぐ本」について増補改訂版を発行する。併せて、発行を記念して作家による講演会や小・中学生を主な対象として、目録に収録した本を紹介するブックトークを開催する。 時 期：令和7年度 場 所：5-Days こども図書館
19 平和をテーマにした映画の特集上映 【市民局生涯学習課（映像文化ライブラリー）】	映像を通じて、被爆体験の継承と「平和への思い」の共有を図るため、映像文化ライブラリーにおいて、開館以来収集してきた平和や原爆をテーマにした映画を集中的に上映する。 時 期：令和7年6月～8月 場 所：映像文化ライブラリー
20 平和記念都市広島の発展をたどる写真展の開催 【市民局文化スポーツ部文化振興課】	写真を通じて、多くの人に「平和への思い」を共有する機会を提供するため、被爆建物である旧日本銀行広島支店において、被爆による廃墟の中から立ち上がり、平和記念都市として発展した広島の歩みをたどる写真展を開催する。 時 期：令和7年8月頃 場 所：旧日本銀行広島支店
21 博物館資料を活用した企画展の開催 【市民局文化スポーツ部文化振興課】	若い世代や国内外から訪れる人々に「平和への思い」の継承と共有を図るため、被爆建物である旧日本銀行広島支店において、被爆による廃墟の中から立ち上がり復興した広島の姿と人々の暮らしをテーマとする企画展を開催する。 時 期：令和7年11月頃 場 所：旧日本銀行広島支店
22 戦後80年の暮らしの変化をたどる企画展示 【市民局文化スポーツ部文化振興課（郷土資料館）】	戦争のない時代の世相を実感し、平和の尊さを再認識する機会を提供するため、戦後復興から高度経済成長、バブル経済といった節目を経て大きく様変わりした衣食住や生活道具などの変遷をたどる企画展示を行う。 時 期：令和7年12月～令和8年2月頃 場 所：郷土資料館

事業名【担当課等】	事業内容
23 被爆建物（旧広島地方気象台）ガイドと原爆被害調査資料の展示 【市民局文化スポーツ部文化振興課（江波山気象館）】	被爆当時、困難な状況の中でも懸命に生きた人々について紹介するとともに、平和を考える機会を提供するため、被爆建物に残る被爆の傷跡についての紹介や当時の気象台員による原爆被害調査の活動などについての展示を行う。 時 期：令和7年8月及び11月 場 所：江波山気象館
24 被爆電車の車内公開等の実施 【市民局文化スポーツ部文化振興課（交通科学館）】	市民や来訪者に「平和への思い」を共有する学習や活動の機会を提供するため、被爆電車の車内公開を行うほか、原爆の被害や戦後の復興に関する記録写真・映像等の展示・上映や、被爆電車に関する工作イベント等を行う。 時 期：令和7年6月～8月 場 所：ヌマジ交通ミュージアム
25 企画展「市民が撮った広島の街（仮称）」の開催 【市民局国際平和推進部平和推進課被爆体験継承担当（(公財)広島平和文化センター）】	被爆者やその遺族が保存していた資料を基に、被爆の実相を後世に伝えるため、平和記念資料館で所蔵している被爆者である市民が撮影した写真に加え、撮影者自身や家族の被爆体験、写真の内容に関連する現物資料などを紹介する企画展を開催する。 時 期：令和7年3月～9月 場 所：平和記念資料館
26 「ヒロシマ平和学習受入プログラム」の提供 【市民局国際平和推進部平和推進課（(公財)広島平和文化センター）】	若い世代の平和意識の醸成を図り、平和文化の賛同の輪を着実に広げるため、8月6日の平和記念式典への参列に加え、平和学習を中心とした「ヒロシマ青少年平和の集い」と平和活動発表を中心とした「ひろしま子ども平和の集い」に参加を希望する自治体を受け入れるとともに、受入自治体の拡充を図る。 時 期：令和7年8月 場 所：平和記念公園 ほか
27 若者による平和の誓いの集いの開催 【市民局国際平和推進部平和推進課】	「ヒロシマの心」の次世代への継承を推進するため、次代を担う若者が主体となって、厳粛な雰囲気のある夜の平和記念公園において、音楽演奏や平和宣言の読上げ、動画・スライド投影など、平和のメッセージを発信するイベントを開催するとともに、若い世代への広報の充実を図る。 時 期：令和7年11月 場 所：平和記念公園
28 平和構築に向けた核軍縮不拡散のためのワークショップ 【市民局国際平和推進部国際化推進課】	核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けた取組を促進するため、国連訓練調査研究所（ユニタール）広島事務所が実施する、アジア各国の外交官や国防担当者などの政府関係者を対象とした「平和構築に向けた核軍縮不拡散のためのワークショップ」の実施への支援を行う。 時 期：令和8年2月頃 場 所：広島市内
29 復興の都市計画についての企画展の開催 【都市整備局都市計画課】	広島の復興に際し、平和記念公園や平和大通り等の幹線道路など都市を形成する骨格を定めた「広島平和記念都市建設計画」が果たした意義を市民に再認識してもらうとともに、復興の記憶を継承するため、同計画の役割等を広く紹介する企画展を開催する。 時 期：令和7年8月6日前後の約10日間 場 所：広島市内

事業名【担当課等】	事業内容
30 『「命の水」～ひろしま水道物語』 による被爆体験の伝承 【水道局企画総務課】	<p>幅広い世代に平和の尊さについて考える機会を持ってもらうため、原爆投下の日、自ら火傷を負いながらも壊れたポンプを修理し、広島に水を送り続けた職員（堀野九郎技手）のエピソードである『「命の水」～ひろしま水道物語～』について、パンフレットや動画で紹介する。</p> <p>時 期：令和7年度 場 所：公民館、文化施設等</p>
31 広島・長崎市児童生徒平和のつどい 【教育委員会青少年育成部育成課】	<p>広島市・長崎市の児童生徒の平和意識の高揚を図り、世界恒久平和の実現に貢献する意欲と態度を育むため、両市の児童生徒がそれぞれの都市を隔年で交互に訪問し合い、平和学習を実施するとともに、学習した内容を発表する。</p> <p>時 期：令和7年7月下旬 場 所：広島市内</p>

(3) まちの姿を通した平和への願いの発信

景観や建築物などまちの姿を通して平和への願いを発信できるよう、ハード・ソフト両面での事業を実施する。

事業名【担当課等】	事業内容
32 毛利輝元没後400年記念事業(仮称)の実施 【市民局文化スポーツ部文化振興課 広島城活性化担当】	被爆以前の広島歴史・文化や被爆からの復興歴史の発信を通じて「平和への思い」の共有を図るため、平和的統治の象徴として広島城天守を築き、現在のまちの姿にも受け継がれる城下町「広島」の基礎を作った大名・毛利輝元没後400年の節目である令和7年度に、記念事業を実施する。 時 期：令和7年度 場 所：広島市内
33 平和大通りの利活用の推進(平和大通りへの芸術作品の設置等) 【経済観光局観光政策部観光企画担当】	人々に平和を実感してもらえる「平和のシンボルロード」を目指す姿としている平和大通りの魅力や価値を高めるため、平和をテーマとした芸術作品を設置するとともに、芸術展を開催する。 時 期：令和7年度 場 所：平和大通り(鶴見町付近)
34 広島を誇りある景観まちづくり形成プロジェクト 【都市整備局都市計画課】	被爆後の広島景観の価値を再認識してもらうとともに、その景観を形作った広島城築城以来の歴史・伝統を理解してもらうため、80周年の節目を捉えた景観を記録する写真集を作成する。また、良好な景観の形成に向けた意識や方向性の共有を図るため、景観シンポジウムを開催する。 時 期：令和7年度 写真の募集、景観シンポジウム 令和8年度 写真集等の作成 場 所：広島市内
35 広島駅南口広場へのパブリックアート設置 【都市整備局都市機能調整部広島駅周辺地区活性化担当】	市民や来訪者に対して平和を願うメッセージを発信するため、広域的な交通結節点としての機能が強化される広島駅南口広場の再整備に合わせ、交通機関の乗換等で多くの人が行き来する広場内へ、広島にゆかりのある著名な芸術家による平和への願いをテーマにした作品等を用いたパブリックアートを設置する。 時 期：令和7年度 場 所：広島駅南口広場
36 京橋の復元 【道路交通局道路部道路計画課】	西国街道をより一層歴史を感じることができる通りとし、市民や来訪者がまちの歴史に思いを巡らせ、平和について考えるきっかけとするとともに、街道沿線の一層の賑わいを創出するため、広島復興を見届けてきた被爆橋の一つである京橋について、長寿命化工事に合わせて、戦時中の金属回収令により石造りとされた高欄や親柱等を架設当時の姿である青銅製に復元する。 時 期：令和7年度 場 所：南区京橋町 ほか
37 西平和大橋歩道橋の整備 【道路交通局道路部道路計画課】	平和記念公園を中心とした回遊性の向上を図り、市民や来訪者が一層落ち着いた環境の中で被爆の実相に触れ、「平和への思い」を共有できるようにするため、戦災復興期に建設された西平和大橋に歩道橋を整備する。 時 期：令和6年度 予備設計 令和7年度 詳細設計 令和8年度以降 着工 場 所：中区中島町 ほか

(4) 被爆の実相を自分のこととして受け止める環境づくり

戦争経験者・被爆者の高齢化を踏まえ、被爆の実相を伝える被爆建物や被爆樹木の保存・活用の取組、新たなデジタル技術を活用した被爆体験の継承活動などに積極的に取り組む。

事業名【担当課等】	事業内容
<p>38 国内ジャーナリスト研修 【市民局国際平和推進部平和推進課】</p>	<p>国内マスメディア等による報道や論説活動等を通じて、被爆の実相や「ヒロシマの心」を国内外へ幅広く発信するため、若手ジャーナリストを対象に、被爆の実相や被爆地広島への課題、核兵器を巡る世界情勢等について総合的、体系的に学ぶ国内ジャーナリスト研修を開設するとともに、研修の受入人数の拡大を図る。 時 期：令和7年7月下旬～8月上旬 場 所：広島国際会議場 ほか</p>
<p>39 被爆樹木の再生利用の取組 【市民局国際平和推進部平和推進課被爆体験継承担当】</p>	<p>被爆の実相を伝える被爆樹木の活用により、平和意識を醸成するため、樹勢回復措置で廃棄せざるを得なかった剪定枝等を再生製品として活用する団体を全国から募集し、配付する。 時 期：令和5年度～6年度 被爆樹木の剪定枝等を集積 令和7年度以降 事業開始</p>
<p>40 AI・VRを活用した被爆体験の継承 【市民局国際平和推進部平和推進課被爆体験継承担当】</p>	<p>被爆者の言葉や思いを後世に残すとともに、的確に提供できるようにするため、被爆体験記や証言ビデオ等の情報を集約したデータベースを構築するとともに、AIなどのデジタル技術を用いた新たな被爆体験の継承方法を検討する。また、VRゴーグルを活用して被爆の実相を視覚的に伝える。 時 期：令和6年度以降 AIによる被爆体験継承方法の検討 VRによる被爆体験継承の実施 場 所：広島市内</p>
<p>41 国内原爆・平和展の開催 【市民局国際平和推進部平和推進課被爆体験継承担当 (公財)広島平和文化センター】</p>	<p>被爆の実相を伝え、核兵器廃絶に向けての国際世論を醸成するため、国内の主要都市において、被爆の実相を示す写真パネルや被爆資料の展示、被爆体験証言などで構成する「国内原爆・平和展」を開催する。 時 期：令和7年度 場 所：国内の主要都市</p>
<p>42 被爆体験記集の作成・配付 【市民局国際平和推進部平和推進課被爆体験継承担当 (公財)広島平和文化センター】</p>	<p>次世代を担う子どもたちへ被爆体験を継承するため、県内の被爆者への聴き取りと代筆により取りまとめた被爆体験記集を作成し、平和学習資料として広島市内の中学校・高等学校等へ配付する。 時 期：令和7年1月以降</p>
<p>43 平和記念資料館の混雑対策 【市民局国際平和推進部平和推進課被爆体験継承担当 (公財)広島平和文化センター】</p>	<p>国内外から来館する方の利便性を高めるため、試行的にWEBを活用したチケット購入・予約システムの導入等を実施する。併せて、来館者の多い夏季に、より多くの方に被爆の実相を紹介するため、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館においてもパネル等を展示する。 時 期：令和6年2月中旬以降 試行実施 場 所：平和記念資料館 ほか</p>

(5) 平和都市としての国際的な認知度の向上

被爆 80 周年の節目に、国際的な交流イベントの実施や、国内外に向けた平和メッセージの発信などに積極的に取り組む。

事業名【担当課等】	事業内容
44 「平和記念都市広島誕生」の編集・発行 【企画総務局公文書館】	核兵器のない世界の実現を願う市民意識の高揚を図るため、広島城築城から近代都市として発展、被爆、復興を経て現在に至るまでの本市の歴史文化を分かりやすく伝える Web 版小冊子を、これまで編さんした市史などを基に英語及び日本語で編集し、発行する。 時 期：令和 7 年度
45 国際シンポジウムの開催 【企画総務局行政経営部行政経営課（広島市立大学広島平和研究所）】	広島平和研究所の研究成果を国際的に発信するとともに、世界平和について考える機会を提供するため、講演のほか、国内外の専門家を招聘し、核兵器廃絶や平和の構築をテーマとする国際シンポジウムを開催する。 時 期：令和 7 年 7 月 場 所：広島国際会議場
46 平和文化月間におけるイベントの開催 【市民局国際平和推進部平和推進課】	平和文化のより一層の普及促進を図るため、11 月の平和文化月間において、芸術文化活動やスポーツを通じた交流など「平和への思い」の共有につながる様々な「文化」の取組を、民間企業や市民団体等にも働き掛けて集中的に実施するとともに、若い世代への広報の充実を図る。 時 期：令和 7 年 11 月 場 所：広島市、広島広域都市圏構成市町
47 ヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展の開催 【市民局国際平和推進部平和推進課被爆体験継承担当（(公財)広島平和文化センター）】	被爆の実相を伝え、核兵器廃絶に向けての国際世論を醸成するため、長崎市と共同で、海外の主要都市等において、被爆の実相を示す写真パネルや被爆資料の展示、被爆体験証言などで構成する「ヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展」を開催する。 時 期：令和 7 年度 場 所：海外の主要都市
48 第 11 回平和首長会議総会 【市民局国際平和推進部平和推進課（(公財)広島平和文化センター）】	核兵器のない平和な世界の実現に向けて、国内外の 8,300 を超える都市が加盟している「平和首長会議」に対する国際的な認知度の向上を図るため、長崎市で開催する第 11 回平和首長会議総会を被爆 80 周年記念事業と位置付けた上で、基調講演や被爆体験講話、アピール文の採択など各種プログラムを行う。 時 期：令和 7 年度 場 所：長崎市内
49 国際フェスタの開催 【市民局国際平和推進部国際化推進課（(公財)広島平和文化センター）】	在住外国人を含む市民の国際交流・協力活動への興味・関心を高めるため、多文化共生及び国際交流・協力に関する講演会や文化体験コーナー等の設置、平和団体の活動紹介展示等を行う国際フェスタを開催する。 時 期：令和 7 年 11 月 場 所：広島国際会議場、平和大通り、平和記念公園

事業名【担当課等】	事業内容
50 姉妹・友好都市記念イベントの開催 【市民局国際平和推進部国際化推進課 ((公財)広島平和文化センター)】	<p>平和について考えるきっかけを提供するため、広島市と姉妹・友好都市提携を結ぶ海外6都市について、音楽コンサートや特産品の販売、交流の歴史等の展示など、各都市の音楽や芸術等を楽しみながら姉妹・友好都市提携の歴史を振り返る市民参画型の交流イベントを実施する。</p> <p>時 期：令和7年5月（大邱の日、ハノーバーの日） 7月（モントリオールの日） 9月（ボルゴグラードの日） 10月（重慶の日）、 11月（ホノルルの日）</p> <p>場 所：留学生会館 ほか</p>
51 広島・長崎連携観光キャンペーン事業の実施 【経済観光局観光政策部観光企画担当・観光プロモーション担当】	<p>被爆都市である本市と長崎市が連携し、外国人観光客の誘客拡大等を図るため、平和文化の発信を始めとするプロモーションや平和学習を取り入れた新たな観光プログラムの造成等の連携事業を実施する。</p> <p>時 期：令和6年度～8年度</p> <p>場 所：広島市、長崎市</p>
52 ピースツーリズム推進事業の実施 【経済観光局観光政策部観光プロモーション担当】	<p>外国人旅行者等の市内での周遊を促進するため、主要な平和関連施設等を巡る「ピースツーリズム」について、情報発信の強化や体験型周遊イベントを実施する。</p> <p>時 期：令和6年度～7年度 情報発信の強化 (案内リーフレットの改訂(日・英)、PR動画の活用)</p> <p>令和7年11月 体験型周遊イベントの開催</p> <p>場 所：広島市内の平和関連施設 等</p>
53 青少年国際平和未来会議の開催 【教育委員会青少年育成部育成課】	<p>本市と本市の姉妹・友好都市等の青少年が、友情と相互理解を深め、広く世界の青少年に「ヒロシマの心」を伝え世界平和への意識を高めていくため、平和記念式典への参列や平和貢献活動についてのディスカッションなどを通して被爆の実相を学ぶとともに、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けた取組を進めていくことをヒロシマアピールとしてまとめる。</p> <p>時 期：令和7年8月4日～12日</p> <p>場 所：広島市内</p>